

民主化闘争情報

No. 871
2012年11月9日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

ジェイアール東日本ユニオン秋田地方本部は11月8日、東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)秋田地方本部に対し、第28回定期大会における佐々木書記長の総括答弁の中で、あたかもJR連合ビラ配布行動と窃盗罪を結びつけるような発言をしたため謝罪を求める公開質問状を送付した。

東日本ユニオン秋田地本が公開質問状を送付！ JR東労組秋田地本に対し謝罪を求める！

青森署は10月16日、8月に窃盗容疑等で無職高橋被告(窃盗罪で公判中)が、県内のJR東日本青森車両センターなどから、鉄道備品類221点(時価130万円相当)の盗みを繰り返していたと発表した(東奥日報10月17日朝刊)。発表によると、高橋被告は4月に鉄道グッズ店に侵入し、懐中時計などを盗んだ疑いで8月に逮捕され、その後の調べで、7月までの間、車両センターなどで、非常用携帯電話や車両番号札など計216点を盗んだことが裏付けられた。調べに対して高橋被告は、「鉄道が好きだった。備品は換金して遊興費に使った」と話しているという。

ところが、7月16日に開催された、JR東労組秋田地方本部第28回定期大会において、佐々木書記長がその総括答弁の中で、「(略)・・・車両部品が盗難に遭っている。それと前後するようにJR連合が盛岡支社前でビラ配布行動をしている。それに西や東海の組合員も来ている。我々はそういうことを意識しながら職場の変化に敏感になって分会・支部・地本しっかりと連携を取って情報の共有化をしていく・・・(略)」と耳を疑うような発言をしているのだ(JR東労組秋田地方本部新聞「AKITA No. 192」)。

車両部品の盗難とJR連合のビラ配布行動が関連あることを断定するこの発言は、窃盗罪とJR連合を結び付けようとする、まさに「冤罪」であり、名誉毀損の観点からも、到底看過することはできないとし、ジェイアール東日本秋田地方本部は、JR東労組秋田地方本部に対し、下記の事項について見解と謝罪を求める公開質問状を发出した(回答期限：11月15日)。

2012年11月8日

東日本旅客鉄道労働組合秋田地方本部
執行委員長 柴田秀樹様

ジェイアール東日本労働組合秋田地方本部
執行委員長 渡辺求

公開質問状

1. 車両部品の盗難とJR連合盛岡支社前のビラ配布行動との関連性を明らかにされたい。また、その根拠を明らかにされたい。
2. 貴労組秋田地方本部新聞「AKITA」に、JR連合、JR東海ユニオンおよびJR西労組に対する謝罪文を速やかに掲載されたい。

組合員に嘘をつくな！JR総連・東労組秋田地本は速やかに謝罪せよ！！